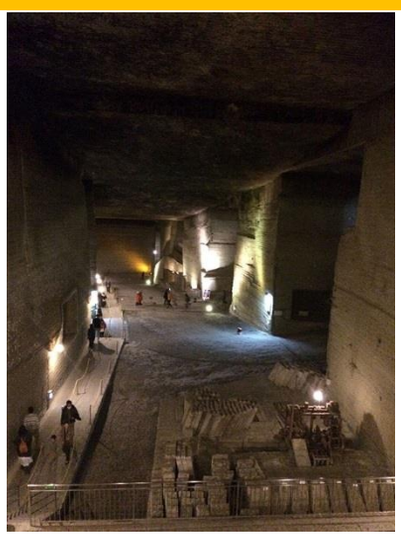
company newsletter

4

ダン吉＆べっこときどき新聞 VOL31

2018.4.1　大谷資料館って知ってますか？　発行元小久保運送（有）/かたづけダンべぇ0270-32-1542



ここのところドラレポが続きます（笑）
さて栃木県旧大谷町に大谷資料館ってあるのをご存知ですか？そう其の名の通り、大谷町で特産の大谷石に関する資料館なのです。ここのところメディアでも紹介されることが多いようで、いわゆるインバウンドな方々にも人気のスポットなのだとか。ですので、ご存知の方も多いのではないでしょうか？そんなスポットに、先日仕事のついでに立ち寄ってみました。
現地に到着してみると、資料館という名称から想像していたのとは大違い、資料館というより地下の巨大遺構という感じ。人が大谷石を切り出した跡ということですから驚きです。
そんな特異な空間だからでしょうか？映画やMTV等の撮影でも多く使われているのだとか。行った時には、デジタル掛け軸等という企画展も開催されていました。
戦時中はなんと中島飛行機の軍需工場にも利用されていたようですし、そういう意味での歴史も感じさせられます。
海底2万マイルで有名なヴェルヌの「地底旅行」というSF小説がありますが、もし現代で映画化されたらセットが組めそうな感じです。それとウルトラセブン第17話「地底GO！GO！GO！」の回にも（マニア過ぎますね）。
とにかく一度は行ってもらいたい、いや是非行くべき、お薦めの資料館だと思います。

大谷資料館　宇都宮市大谷町909
ルートは東北道鹿沼IC下車20分程度
（帰りは日光経由で帰って来るのもお薦め）

伊勢崎市五目牛町「イガラシ苺園」の不器用過ぎる男の苺

圧倒的な美味しさで、一粒で食べた人を虜にする**「イガラシ苺園」**さんのイチゴ。
伊勢崎市五目牛町で、大変な手間がかかり、現在ではめっきり少なくなった〝山上げ育苗〟で育てられたイチゴは、みずみずしく驚くほど甘い！しかも粒が大きい！大粒のイチゴって大味なのが多いけど、こちらのは全然そんなことない。とんでもなく甘くてまろやかです。
今年１月の品評会で、受賞も果たした折り紙付きの美味しさ。そんな上質なイチゴを、無造作に箱詰めした商品が話題に。その名も**「不器用すぎる男の苺」**
可愛いイメージのイチゴを敢えて男っぽく無骨に。その分たっぷり１kg男盛りに詰め込みました。
自宅用に…と作った商品ですが、素朴な白箱に太い麻紐が逆にオシャレで、お土産やお遣い物に買う人も多いそうです。
さてイチゴはハウス横の直売所のほかに、セブンイレブン波志江町店・連取町店でも購入できます。どちらも、その日の朝に収穫した朝摘みイチゴのみ！
一度食べると他のイチゴが食べられなくなる。ある意味危険なイガラシさんのイチゴ？
まさに今が旬のこの時期に是非ご賞味を♪
（※例年４月いっぱいが時期とのこと。価格についても要ご確認を。）

不器用すぎる男の苺2000円

「イガラシ苺園」
住所：伊勢崎市五目牛町601
電話：080-4731-8181
販売時間：月・水・金・日の9:30～12:00
定休日：火・木・土

出典　伊勢崎佐波エリアを発見するサイト「アイマップ」
http://www.imap.ne.jp

引き続き　お引越＆お片付け受付中

3月から変わらず、4月は引越が比較的多い月です。

新社会人の方の研修後の入寮、年度替わりの移動に伴うお引越、学生さんの入学式後のお引越等々、
弊社では4月においても、お引越＆お片付けを積極的に受付しております。

お気軽にお問合わせください。

ライン見積もりも是非ご利用下さい。

ひとこと

友人に「MJFesに行ってきたよ。」と言うと、「何それ？」と返事。「みうらじゅんのフェス、知らないの？」と私。
わからない人には全然わからないことを、誰かに伝えたいという一心で彼の人は膨大なコレクション収集やマイブームを「修行」の一貫として、しかも「仕事」として続けているそうです。
仕事＝修行。そうか仕事は修行か。最近そんなふうに思い、時々自分を納得させたりしてます。
さらに氏の行動原点は**「人に伝えたい」**という気持ちなんだそうです。そうか私も同じだなぁ。
みうら氏のフェスを見ていて、己の行動原点がどこにあるのか確認できた次第。そう子供に言うと、「私も」と。さすが親子。血なんですねぇ。